

アークフラッシュ施工された老人施設 7年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

< * > <http://www.arc-flash.co.jp> **新着施工写真を更新いたしました**

新商品の資料を掲載しました。印刷も可能です。

<< 財団法人神奈川難病財団 >>

財団法人神奈川難病財団では、難病解明に尽力されている研究医師に対して援助金を交付しております。皆様からの暖かい義援、寄付をお待ちしております。

アークフラッシュ本部でも、チャリティー工事として皆様からご紹介の工事の利益を難病財団に寄付していきたいと考えております。皆様のご自宅でこの際には是非、アークフラッシュの威力をお試ください。又、アークフラッシュバンドの演奏会におきましてもチャリティー演奏会として皆様からのミュージックチャージの一部を寄付させて頂きたく皆様のご支援を直しくお願いもうしあげます。

拝啓

日頃、当財団の運営に関し、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新体制になり、今回ホームページを刷新しましたので、ご連絡申し上げます。

尚、お気づきの点がありましたら、ご連絡下さい。

ホームページのアドレスは、以下 URL をクリックして下さい。

今後共、財団に対しご支援、ご鞭撻をお願い致します。

専務理事 兼 事務局長

神原 三郎

財団法人神奈川難病財団

〒231-0021 横浜市中区日本大通7番地

日本大通7ビル8階

TEL. 045 - 228 - 0703 FAX. 045 - 228 - 0704

E-mail: kanazai@nifty.com

URL <http://knz.or.jp>

<< インフルエンザ情報 >>

2007年6月22日、中国外交部はベトナムに渡航・滞在する中国国民に鳥インフルエンザの情報に注意するよう呼びかけた。

ベトナムのメディアによると、今年5月ベトナムでは再び鳥インフルエンザが流行の兆を見せている。すでに感染は18の省・市に拡大し、2人の死者が出ている。

< 感染症情報 >

熊本県は22日、阿蘇市の学校の池でコイヘルペスウイルス病の発生が確認されたと発表した。今年度初めての発生。

県水産振興課によると、池で飼育していたコイ36匹が5月20日ごろから死に始め、今月20日に死んだコイを県水産研究センターでウイルス検査したところ、陽性反応(確定診断)が出た。感染経路は分かっていない。県は池のすべてのコイを焼却処分するよう指導した。

富山県は21日までに、県西部在住の30歳未満の男女4人から、病原性大腸菌「O157」を検出したと発表した。4人はいずれも南砺市福野の焼き肉店「炭火焼はな牛」で食事をしたことが判明したため、県は同店に20～22日の3日間、営業停止を命じた。

県によると、4人は10、11両日に同店でレバーの刺し身やユッケなどを口にし、18～21日にベロ毒素も確認された。症状は無くなっているか、快方に向かっている。

これまでに、県内と愛知県豊田市の計6グループが利用したことが分かっており、この4人を含め計12人が腹痛や下痢の症状を訴えたという。

県は他にも同店利用者がいるとみており、21～27日の午前8時半～午後5時(23、24両日は午前9時～午後4時)、砺波、高岡両厚生センターで検便などの無料健康調査を行う。

これとは別に県西部の50歳代と10歳代の男性からもO157が検出されており、今年の県内の感染者は計14人(昨年同期比11人増)となった。

<< 施工報告 >>



施工 : エコリーディング

<< 感染症情報 >>

感染したら2人に1人は死亡！？中国製粉ミルクから大腸菌！？北京市2007年7月3日、北京市衛生局のWEBサイトは、同市で販売されていた中国製の粉ミルク・米粉(ビーフン)の7%から腸内細菌が発見されたと伝えた。

北京市疾病コントロールセンターは乳幼児用食品のサンプル調査を行った。国内企業

30社58点の粉ミルクと51点の米粉を検査したところ、粉ミルク3点、米粉4点からエンテロバクター・サカザキと呼ばれる細菌が発見されたという
エンテロバクター・サカザキ菌は乳幼児の髄炎や腸炎の原因となる大腸菌で、感染した**幼児の死亡率は20～50%と極めて高率**。死亡しなかった場合も神経障害などの重い合併症を誘発する危険が指摘されている

米国のスナック菓子がサルモネラ菌に汚染され、中国製の原材料が原因である可能性が高いことが3日、分かった。ペットフード、練り歯磨き、養殖魚、タイヤなど、安全性に問題のある中国製品が米国で次々と発覚。米中貿易関係を一段と緊張させる要因となってきた

金沢市は4日、市内の私立幼稚園で病原性大腸菌（O（オー）26）が集団発生し園児4人が感染、発症したと発表した。いずれも軽症という
同市によると、6月23日に男児（4）が下痢や血便などで入院、同月27日にO26と診断された。その後、同じクラスの女児（4）1人、男児1人（4）とその姉（5）から同じ病原菌を検出した。
市の調査では、最初に感染した男児の原因は分からなかったが、他の3人は園内や家庭内でトイレなどを通じ感染したとみられる

*** 発行責任者 株式会社アークフラッシュ本部**
笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 sasagawa@arc-flash.com
1号～74号までを配信希望の方はメールにて申込ください。